



小矢部市

議会だより

平成29年8月発行

No.186

発行/小矢部市議会

編集/議会だより編集委員会

電話 (0766)67-1760 (内線 322)

FAX (0766)68-0194

市民と議会との対話の場 議会報告会を開催

6月24日、小矢部市農村環境改善センターと津沢コミュニティプラザの2会場で議会報告会を開催し、議会の活動報告と参加者との意見交換を実施いたしました。多数の方にご来場いただき、改めて感謝申し上げます。

内容の詳細については市議会のホームページで公開しておりますので、是非ご覧ください。



議会報告会の内容はこちらから▲



上段：小矢部市農村環境改善センター

下段：津沢コミュニティプラザ



補正予算の概要	2	次回議会日程	9
協議会の設置・人事案件等	2	委員会行政視察報告等	10
審議議案・議員別賛否状況等	3	閉会中委員会開催状況	11
代表・一般質問等	4~8	意見書	11
委員会報告・議長交際費	9	会務報告・編集後記	12

一般会計補正予算など

26議案を議決しました

6月9日から23日までの15日間を会期として6月定例会を開会しました。6月定例会では、市長から平成29年度小矢部市一般会計補正予算、小矢部市副市長の選任同意や小矢部市農業委員会委員の任命同意、専決処分事項の承認についてなど議案25件、議員から議員提出議案1件が提案され、それぞれ原案のとおり可決・同意等しました。

その他、法令等に基づく報告事項が2件あったほか、小矢部市議会改革協議会を設置、陳情1件を処理、議員派遣を可決しました。

◎ 6月補正予算の概要

議案第27号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)
 補正額 3,905.8万円 累計予算額 151億945.8万円

《主な事業》

- ・商工業振興対策費 2,700万円
 市内繊維産業の振興を図るため「おやべ繊維」のブランド化を目指すもの
 (国庫補助金を活用)
- ・定住促進対策事業費 100万円
 首都圏からの移住者増加を目指し、移住体験やガイドブックの作成を行うもの
 (地域活性化センターの助成金を活用)
- ・コミュニティづくり推進費 490万円
 自治会の備品等の整備に対して助成するもの
 (自治総合センターの一般コミュニティ助成金を活用)
- ・消防施設管理費 100万円
 消防団活動備品の整備を行うもの
 (自治総合センターの一般コミュニティ助成金を活用)

議案第28号 平成29年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 731万円 累計予算額 33億3,111万円

《主な内容》

国民健康保険の県域化に向けてシステム改修を行うもの(国補助金を活用)

小矢部市議会改革協議会の設置

議会改革に関する事項(議員定数・議員報酬・その他)を協議することを目的に小矢部市議会改革協議会を設置しました。
 (会長 沼田信良・副会長 福島正力)

永年勤続議員表彰

小矢部市議会議員表彰内規に基づき、本定例会で次の方々を表彰しました。

◎議員在職30年以上表彰

宮西 佐作 議員

砂田 喜昭 議員

◎議員在職10年以上表彰

石田 義弘 議員

全国並びに北信越市議会議長会定期総会において、次の方々を議員表彰を受けられました。

◎議員在職30年以上特別表彰

宮西 佐作 議員

砂田 喜昭 議員

◎正副議長在職4年以上表彰

議員在職10年以上表彰

石田 義弘 議員

人事案件

◎小矢部市副市長の選任同意

竹田 達文 氏(高岡市)

◎小矢部市農業委員の任命同意

宇川 傳治 氏(胡麻島)

大谷 文男 氏(谷坪野)

日光 善治 氏(芹川)

高田 法定 氏(興法寺)

和田 俊信 氏(石坂)

高藤 孝一 氏(藤森)

三輪 和雄 氏(蓑輪)

吉江 秀一 氏(下中)

水上 俊秀 氏(田川)

山崎 和英 氏(白谷)

杉森 清弘 氏(赤倉)

島倉 博 氏(名畑)

古村 正夫 氏(東福町)

田悟 敏子 氏(畠中町)

中村 重樹 氏(津沢一丁目)

中島 一朗 氏(了輪)

西尾 信秋 氏(安養寺)

荒木 貞道 氏(金屋本江)

前田 真一郎 氏(矢水町)

青島 由弘 氏(水落)

6月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対

区 分 (主な内容)		議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
補正予算	議案第27号	平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	平成29年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) (補正予算の概要は2ページを参照ください。)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認	承認第2号	小矢部市税条例の一部改正について(3月31日専決) ・平成29年度税制改正に伴い、地方税法が改正されたことから、小矢部市税条例における関係部分について所要の改正を行ったもの。 (平成29年4月1日施行(一部、平成29年3月31日施行))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認第3号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について(3月31日専決) ・地方税法等の改正に伴い、国民健康保険税の軽減措置(5割軽減・2割軽減)に係る所得判定基準等について、所要の改正を行ったもの。 (平成29年4月1日施行)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	同意第2号	小矢部市副市長の選任同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第3号 ~同意第22号	小矢部市農業委員会委員の任命同意について (人事案件の概要は2ページを参照ください。)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第2号	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書 (意見書の内容は11ページを参照ください。)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は表決に加わりません

陳情の処理状況

陳情	陳情第1号	精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書の採択に関する陳情書 陳情者 特定非営利活動法人 富山県精神保健福祉家族連合会 理事長 青山正二	採択
----	-------	--	----

6月定例会で報告された事項

報告	報告第1号	平成28年度小矢部市継続費繰越計算書の報告
	報告第2号	平成28年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告

23日	22日	21日	20日	19日	16日	15日	14日	13日	12日	9日
本会議(質疑・討論・表決他)	議会運営委員会	委員長会議	全会協議会	議会運営委員会	交通対策特別委員会	議案調査日	議案調査日	議案調査日	議案調査日	議会運営委員会
					総務常任委員会	民生文教常任委員会	産業建設常任委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	全会協議会
					本会議(一般質問)	本会議(代表・一般質問)	本会議(代表・一般質問)	本会議(代表・一般質問)	本会議(代表・一般質問)	本会議(提案理由説明)
										全会協議会

6月定例会の
審議経過

(会期15日間)



会派「誠流」
義浦 英昭 議員

- ◎石動駅周辺整備事業について
- ◎第6次総合計画の検証について
- ◎有害鳥獣被害対策について

◎石動駅周辺整備事業について
質問 石動駅施設及び南北自由通路建築工事の進捗に遅れが見られる。その理由と供用開始時期について問う。

また、鉄道ダイヤについては、石動から富山方面への利便性は悪く、特に通勤・通学時間帯の運行本数が少ないことから、利用者には座れない状況である。加えて、本市では石動駅での折り返し運転を要望しているが、4月に地酒列車が福岡駅折り返しで運行された。これらの状況に対して、今後どのように要望を展開していくのか。

市長 市で発注している実施設計業務のうち、工事委託をする駅施設や南北自由通路の建築設計については年内に完成しているが、鉄道電気設備の設計については、非常にシビアな設計協議を実施しながら進めた結果、当初見込みより遅れが生じた。供用開始は平成30年11月を予定している。

また、石動駅の利便性向上に向けて、現在進めているあいの風とやま鉄道石動駅利用促進調査業務の結果を活用することや、呉西圏域で連携するなどし、高岡駅以西区間の運行本数の増便や石動駅での折り返し運行について、あらゆる機会を捉えて、強く要望を重ねていきたい。

査業務の結果を活用することや、呉西圏域で連携するなどし、高岡駅以西区間の運行本数の増便や石動駅での折り返し運行について、あらゆる機会を捉えて、強く要望を重ねていきたい。

◎第6次総合計画の検証について

質問 第6次総合計画が9年目を迎え、最終仕上げの段階に入っている。計画の目標人口は3万3千人だったが、現在の人口は約3万人で目標を下回っている状況である。当計画の実施状況の効果の検証作業はどのように進めるのか。

また、定住促進政策は近年では大きな予算を投じており、おやベルネサンス総合戦略の効果や、進捗状況を検証するため、総括していただきたい。

市長 人口増加に向けた対策は、定住促進に係る各種助成金の継続や拡充により定住人口の増加を目指すとともに、子育て支援にも積極的に取り組んできた。検証作業の予定については、実施計画に基づく事業ごとに、事業の進捗状況を管理し、今後の

方向性について評価を行っている予定としている。

また、今年度はおやベルネサンス総合戦略の中間年度にも当たることから、掲げた事業を一つ一つ着実に取り組むとともに、検証作業を行いながら必要な見直しを進め、「魅力・安心・充実・しあわせおやべ」の実現に向けて、確実に歩みを進めていきたい。

◎有害鳥獣対策について

質問 有害鳥獣対策の強化を図るためには、国の交付金事業の拡充を図る必要があると考える。これについて、どのように取り組むのか。

また、捕獲したイノシシの処理方法について、現在は人力で行っているが、負担が大変大きい。負担の軽減に向けた調査・検討の進捗状況を問う。

あわせて、恒久的な侵入防止柵の設置や非農地への侵入防止柵の設置など、イノシシの個体数を減らすための捕獲対策についての進捗状況を問う。

市長 国の補助事業においては、被害の未然防止のための電気柵

設置費用や成獣以外の捕獲活動費用、新規の狩猟免許取得に係る費用が補助対象外であることから、国・県に対し、制度の拡充について重点要望を行っている。

また、処理負担の軽減に向け、高岡広域エコ・クリーンセンターにおけるイノシシの焼却処分について、高岡、氷見、小矢部の関係3市で協議・検討を進めているところである。

恒久的な侵入防止柵、非農地への電気柵の設置については国や県に対し要望をしたい。イノシシの個体数を減らすための対策として、研修会を実施するなど、捕獲活動にかかわる人材の確保と育成に努めている。



電気柵の設置やイノシシへの対策に関する研修会

代表・一般質問の詳細については市議会ホームページで公開している会議録をご覧ください。(6月定例会分は8月頃更新予定)



- ◎地方創生について
- ◎水難事故の取り組みについて
- ◎多文化共生についての提案



白井 中 議員

質問 本市には、頑張っている様々な業種の中小企業が多くあり、これらの企業がブランド力をつけて成長するためには支援が必要であると考える。今後の夢のある取り組みについて当局の見解を問う。

企画政策部長 本市には、繊維産業、養鶏業、製麺、麩などの食料品製造業など、頑張っている中小企業が数多くある。これらの企業を支援することは、地域経済への波及効果を高めるとともに活性化に繋がると考えている。さらなる地場産業の掘り起こしを行い、さまざまな業種において、ブランド化を目指していきたい。

質問 農業用排水路に安全施設を設置する場合、本市では地元負担があるためなかなか整備が進まないと聞いている。地元負担の軽減を図り、安全対策を講じることが必要だと思いが当局の見解を問う。

産業建設部長 幹線の用排水路に地元負担を伴わず事業を実施している市もあると



ブランド化を目指す「おやべ繊維」
本市繊維産業の事業所数・従業員数は全産業の約25%を占める

聞いている。不慮の事故を防止するという観点からも近隣市の動向を把握し、地元負担の軽減策について今後検討していきたい。

質問 本市は人口減少に伴う労働力不足等により、さらなる国際化が進むと考えられ、本市においても、多文化共生について着すべきときにある。外国人登録者に対して、アンケート調査を行うてはどうか。

企画政策部長 外国人登録者の約3分の2が外国人技能実習生で、非常に高い割合となっている。第7次総合計画の策定に当たり、企業アンケート調査を実施する予定としており、その中で外国人労働者、技能実習生に関するアンケート項目を設けることを検討したい。

一般質問

- ◎「メルヘンのまちおやべ」について
- ◎健康寿命の延伸をめざして
- ◎コミュニティスクールの導入について



加藤 幸雄 議員

質問 新駅舎・図書館をメルヘンのイメージを活かしたものにすれば、本市の玄関口にふさわしいものになっている。当局はどのように考えているか。

産業建設部長 新駅舎・図書館は、レンガ色を基調とした色彩や、三角屋根と植生護国八幡宮拝殿の大屋根のシルエットを融合させたデザインを取り入れるなど、メルヘンのイメージを取り入れたデザインとしている。

質問 駅前商店街の整備について、お年寄りから子供達まで集う、わくわくするにぎやかな街並みを期待する。当局の見解を問う。

企画政策部長 再生した石動駅にふさわしい駅前通りとし、お年寄りや子供達が歩きたくなるような街並みとなるよう、調査を進めたい。

質問 平成18年度に地域包括支援センターを設置し、介護予防や認知症対策に取り組んでいるが、その内容や成果について問う。

副市長 認知症等の機能向上の介護予防事業を実施し

ており、要介護認定率の推計値を下回っていることから、一定の成果があると考えている。

質問 本市における、学校が核となり、地域を盛り上げる地域づくりはどのように行っているか。

教育長 総合的な学習の時間などに、地域の現場に出かけ、地域の方々から話を聞く機会を設けるなど、地域の人たちとの関わりが生まれるよう取り組んでいる。

質問 地域や保護者とのトラブルに対し、学校ではどのように対処しているか。

教育長 学校内で情報を共有し、解決策を話し合い、個別面談等により、保護者等の理解に努めている。また、学校から教育委員会に相談・報告があった場合は、最善の対処がされるよう指導等を行い、その理解と解決に努めている。



南北自由通路(南側)完成イメージ図

- ◎農業振興について
- ◎空き家・空き地対策について
- ◎子供たちの安全安心について



山室 秀隆 議員

質問 平成30年産米から生産目標数量が廃止になることもあり、産地間競争を勝ち抜く「売れる米」を生産することが重要である。小矢部型稼げる農業創造事業において取り組む、小矢部産米の販路拡大や販売促進の内容について問う。

産業建設部長 今年度は、販売強化に向けた計画を策定し、実践していく予定としており、地域資源と連携した新商品の開発及び販路拡大や市場分析による商品の販売力強化、農地の土壌分析などの6つの事業を柱として事業展開する予定としている。

質問 本市の推計人口から想定すると、今後、有効活用されない多くの空き家が発生すると思われる。空き家になってから対策するのではなく、住んでいる段階で、家屋所有者等の利用等意向調査を実施するなどの積極的な対策が必要だと考えるが、当局の見解を問う。

産業建設部理事 利用意向調査については、対象調査の特



市内5小学校で使用しているスクールバス

定が困難なことや、所有者の感情などを考慮すると、難しい。空き家状態の長期化を防ぐ予防策として、空き家・空き地バンク活用促進事業、適正な維持管理を促進させるための対策として、4月に市と協定締結したシルバー人材センターが行う空き家サポーターサービスなどの制度を周知し、空き家対策に努めていきたい。

質問 市内5小学校で運行しているスクールバスの安全対策について問う。

教育委員会事務局長 運転手は、乗務前に簡易アルコール検知器による飲酒チェック、疾病・疲労などの健康状態のチェック、出発前に車両の安全点検を行っている。また、車掌を配置し、運転手の安全走行の補助と、児童生徒の乗降時及び乗車中の安全確保を図っている。

- ◎小矢部市の教育行政について
- ◎小矢部市の学校給食について
- ◎小矢部市の就労支援について



山本 雅明 議員

質問 教育基本法において、国及び地方公共団体は家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する支援を行うこととされているが、本市では、家庭教育力の向上のために、どのような取り組みを進めているか。

教育長 全ての親が安心して子育てや家庭教育ができるよう、親学び講座を実施し、親同士が子育ての悩みや課題を語り合う機会を設けている。今年度は、講座の開催日を授業参観の前後に設定し、より多くの保護者が参加できるように工夫し、加えて、講座のコーディネーターに子供と親の相談員を活用するなど講座の充実を図るよう努めている。

質問 学校給食センターは鉄骨構造で、耐用年数は約40年と言われている。今後の施設の更新について、どのように考えているか。

教育委員会事務局長 学校給食施設衛生基準が推奨するドライ化対応や、現在の施設面積では、アレルギー物質の完全除去食のための調理室

を設置できないなどの課題に直面している。このような状況を踏まえ、今年度から改築計画の策定に向け、適切な施設規模及び運営方法並びに整備手法などについて、調査研究に取り組む予定としている。

質問 障害者の雇用の促進等に関する法律で義務づけられている、障害者雇率は、来年4月から、国や地方自治体では2.5%となるが、本市の職員採用に当たり、どのように対応する予定であるか。

総務部長 今のままで推移すると、義務づけられた障害者雇率の達成が見込まれる状況にあるが、引き続き、中長期的な視点に立つて、計画的な職員採用に努めるとともに、障害者雇率の達成に努めていきたい。



親学び講座で活用されている「親学びノート」

◎小矢部市の農業の今後の展開について
 ◎食品ロスについて
 ◎子どもたちへの活動支援について



石田 義弘 議員

質問 米価が下落傾向にあり、農家は、低コスト化・省力化に向けて取り組みをしなければならないのが現状であり、本市においても、密播種や直播に取り組む農家も増えている。今後の本市における取り組みの方向性や効果と期待について当局の見解を問う。

産業建設部長 低コスト化・省力化の効果が期待できる密播種と直播には、それぞれリスクもある。本年度の実績を踏まえ、メリット・デメリットを整理し、生産者や営農指導員等と意見交換をしながら、今後も取り組みを進めていきたい。

質問 本市の食品ロス削減に向けた、市民への啓発・周知に関する考えについて問う。また、食品ロス削減に向け、家庭菜園を推進する考えはないか。

民生部長 昨年度実施された富山県の調査では、食品ロス問題の認識度は県全体では64.1%と全国平均の77%と比較して低いため、本市においても、普及啓発活動

が必要であると考えている。また、家庭菜園で、自ら野菜を作ることにより、食品に対する意識を高める効果が期待できることから、家庭菜園を通じた食品ロスの啓発方法について、今後検討していきたい。

質問 本市のスポーツ少年団の団員数は少子化の影響で年々減少しており、今後の維持が困難になることが予測される。この現状について、どのように考えているか。

教育長 児童生徒数の減少率よりも団員数の減少率の方が大きく、この要因については、分析が必要であるが、子ども達の中でスポーツ離れが進んでいることも推測される。今後、様々な方面から意見をいただきながら、団員数の確保に努めていきたい。



スポーツ少年団 (合同入団式)

◎核兵器禁止条約への賛同について
 ◎地域経済の振興について
 ◎あいの風とやま鉄道の金沢方面への増便と石動駅での折り返し運転について
 ◎災害に対する復元力のある地域づくりをめざすことについて
 ◎子ども医療費を高校生まで無料に



砂田 喜昭 議員

質問 7月7日に核兵器禁止条約が採択される見通しとなったが、平和首長会議に参加する小矢部市として、この核兵器禁止条約への賛同を表明してもらいたい。

市長 平和首長会議は、核兵器禁止条約の締結に向けた世界的な動きをつくり出すために取り組みを進めている。本市としても、平和市長会議の一員として取り組んでいきたい。また原爆と人間パネル展示など平和教育充実も図ってほしい。

質問 福祉の職場の処遇を改善し、地域経済を活性化するためにも、その財源は国や県、市の財源で補填することが必要ではないか。

民生部長 まずは国が推進している介護保険制度により、処遇の改善が図られるよう注視し、それに加えた形で対応ができないか考えていきたい。

産業や雇用を生み、林業の振興や中小企業の振興に繋がるのではないかと。

民生部長 木質ペレット燃料の公共施設への活用については、経済性等を考慮して検討したい。また、民間への普及については、補助金制度の活用により、ペレットストーブの設置を通して、地球資源を活用した産業振興の推進に貢献したい。

産業建設部長 林業分野の地場産業の育成・活性化という観点から、市の補助金制度を活用し地元産材普及を図りたい。公共施設への活用もできる限り行いたい。

質問 高校生の医療費無料化を求めたい。

民生部理事 子育て支援策の一環として、子育て世代の要望や近隣市町村の動向、本市の財政状況をふまえて総合的に検討したい。



市庁舎ロビーにあるペレットストーブ

※その他、次の質問がありました。
 「災害に対する復元力のある地域づくりをめざすことについて」ほか



嶋田 幸恵 議員

質問 観光振興を行う際には、経済効果を念頭に置いて取り組みを進める必要があると考える。そのために、行っている施策と具体的な経済効果を示して欲しい。

企画政策部長 外国人の誘致として、台湾での出向宣伝を行い、旅行会社へのPR活動等を実施している。また、経済効果に関しては、県が実施した調査を基に試算すると、アウトレット開業後、1年間で約17億円の観光消費額が増加していることになる。飲食や宿泊など、個々の数値は掴んでいないが、詳細な計算方法については、今後、研究していきたい。

質問 タワーの湯の利用客数減少対策として、昨年12月議会においても話をしていた公衆浴場組合との料金の協議については、その後どのように進んでいるか。

民生部理事 本年2月に、利用促進の一環として、市の公衆浴場組合と料金の値下げについて協議をした。その結果、現在の富山県の入浴料金の統制額が大人420円

- ◎市長への手紙について
- ◎広報の経済効果について
- ◎観光振興について
- ◎ふれあいセンタータワーの湯について
- ◎ひきこもりについて
- ◎新図書館の運営について

※その他、次の質問がありました。
「市長への手紙について」ほか



タワーの湯

であり、タワーの湯の入浴料は620円で、開業当時よりも、その差が縮まっている状況であり、民業を圧迫しかねないため、料金の値下げはしないで欲しいと強く要望された。利用客の増加のために、公衆浴場組合とタイアップした取り組みができないか現在模索しているところである。

質問 ひきこもりの実態とその対策について問う。

民生部長 内閣府の調査を基に試算すると、本市の15歳から39歳までのひきこもりの人数は約100人程度と推測できる。主なきっかけは不登校、就職の失敗などである。本市の対策として、各機関と連携して電話や来所等で随時相談を受けているところである。今後とも相談しやすい体制づくりに努めていきたい。

- ◎北朝鮮のミサイル問題について
- ◎生き抜く力を育てる学校教育について



中野留美子 議員

質問 北朝鮮のミサイル発射実験が頻発しており、緊迫した状態である。本市においても、早急に、北朝鮮のミサイルによる避難訓練の実施が必要だと考えるが、当局の見解を問う。

総務部理事 本年4月に、国から各都道府県に対し、ミサイル落下を想定した住民避難訓練の実施の要請があったことを受け、7月には高岡市において、国、県、市が共同で実施する訓練が予定されている。今後、高岡市の訓練状況も踏まえ、より効果的な訓練について、県と連絡調整を密にしながら検討していきたい。

質問 現在、学校で実施されている防災教育の内容と避難訓練の内容や回数について伺う。

教育委員会事務局長 防災教育は、学校の安全教育の一環として、総合的な学習の中で自然災害、地形、防災について計画的に取り組むなどしている。また、避難訓練については、学校ごとに災害の種類に応じた避難訓練を

工夫しながら行っており、小学校では年4、5回、中学校では年2回継続して実施している。今後、国の手引の内容を踏まえ、各学校における防災マニュアルを作成し、訓練を進めていきたいと考えている。



小学校で行われている避難訓練

質問 3月議会において、ネット依存症対策の一環として、ネット依存症を発見するためのチェックシートを紹介したが、その後、活用されているか。

教育委員会事務局長 昨年度に、市教育センターが、小・中学校を対象に、スマートフォン等の利用に関するアンケート調査を実施し、使用時間等について調査を行ったところであるが、ネット依存症に関する調査は実施していない。今後、調査方法も含めて検討していきたい。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、災害対策について、過去に大規模災害が発生した市町村の対応状況を調査研究して対策を計画的に策定すること。また、地区や民間企業等と連携するシステムの構築に取り組む、災害発生後の混乱が最小限になるようにすること。

二点目は、新規事業の検討を行う場合、構想段階から議会や市民の意見に耳を傾け、真に必要な事業であるか、適切な手法であるか十分に検討を行うこと。

産業建設常任委員会

一点目は、石動駅施設及び南北自由通路の整備事業について、この整備事業は市民の期待がとて大きい事業である。今年五月に石動駅南土地区画整理事業が完成し、市民は来年三月の供用開始を楽しみにしていたが、工期に大幅な遅れが出て供用開始が来年十一月

月まで延期されるとの報告を受けた。これ以上、工期が遅れが出ないようにあいの風とやま鉄道との連絡を密にし、一日も早い完成に努めること。

二点目は、上下水道の整備事業について、本年三月に国が推進する生活排水処理十年概成に合わせて小矢部市下水道基本計画の見直しを行ったが、見直しを行った地域の上下水道の整備に当たっては、地域住民に十二分に説明し、話し合いを行い、理解を得ながら事業を進めること。

三点目は、稲葉山山頂休憩所のリニューアルについて、計画されている稲葉山山頂休憩所のカフェレストランは、来訪者に喜んでもらえるように稲葉メルヘン牛をはじめ地元農産物を使用し、市民にも長く愛される地産地消のカフェレストランとなるように十分に検討し、整備を進めること。

民生文教常任委員会

一点目は、大谷学校区・蟹谷学校区統合こども園の建設計画については、地域や現場の声を聞き、より使いやすく親しみのある施設となるよう配慮すること。

また、新統合こども園周辺については、交通環境等が大幅に変化することが見込まれることから、関係機関とも

協議を行い、交通安全対策を的確に講じること。

二点目は、放課後児童クラブの運営については、保護者のニーズを的確に把握し、それらの要望に適切にこたえられるよう、開所時間の延長等についても検討するとともに、引き続き人材確保に努めること。

三点目は、教員の多忙化の解消につながる統合型校務支援システムの導入に当たっては、現場の声をよく聞き、それらを反映させた、より良いシステムを導入すること。

また、国が進めている、部活動指導員の制度化による教員の負担軽減を図る施策についても調査・研究すること。

平成29年度 議長交際費支出状況

平成 29 年 4 月～平成 29 年 5 月 (単位:円)

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	4	71,000
① 御祝・寸志		
② 激 励 金		
③ 見舞・香典	4	71,000
2 協 賛 費	1	3,807
3 会費・懇談会費	4	23,406
4 そ の 他	2	17,104
合 計	11	115,317
平成 29 年度予算額		1,400,000
執 行 率		8.24%

※小矢部市議会のホームページからもご覧になれます。

9月定例会の日程(予定)

5日(火) 10時 本会議
7日(木) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会
8日(金) 議案調査日
11日(月) 議案調査日

12日(火) 議案調査日
13日(水) 9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)
14日(木) 10時 本会議(一般質問)

15日(金) 10時 民生文教常任委員会
14時 公共施設再編特別委員会

19日(火) 10時 産業建設常任委員会
14時 交通対策特別委員会

20日(水) 10時 総務常任委員会
14時 決算特別委員会

21日(木) 議案調査日
22日(金) 10時 議会運営委員会

委員長会議
13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※緑色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
(※19時とその週の18時から再放送予定)
録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。

行政視察報告

総務常任委員会

【日程】
5月15日
～17日

【視察先】

東京都立川市
埼玉県和光市・ふじみ野市
栃木県佐野市

●公共施設等マネジメントについて／市庁舎建設について

東京都立川市では、「公共施設保全計画」や「公共施設再編計画」を策定するなど早くから公共施設の再編に取り組んでいました。また、庁舎建設の際には、100人委員会による基本構想市民案の作成や設計段階や施工段階の市民参画などを行っていました。

●公会計を含む財務事務について／財政健全化の取組みについて

埼玉県和光市では、公認会計士などの資格を持つ特定任期付職員を雇用し、予算編成段階から複式簿記に対応した勘定科目を設定する予算仕訳により、負担の少ない新公会計制度に対応した会計処理を行っていました。

●PFIによる学校給食センター整備運営事業について

埼玉県ふじみ野市では、民間事業者が施設の設計建築を行い、完成後に施設を市に譲渡し、民間事業者が施設の運営業務を行うBOT方式の施設運営について説明を受けました。



●プレミアムアウトレットの活用と中心市街地活性化について／新庁舎建設について

栃木県佐野市では、新庁舎建設の際、免震構造の採用、市民活動スペースの設置、県産材活用などを行っていました。中学生によるワークショップなどにも取り組んでいました。

産業建設常任委員会

【日程】
5月22日
～24日

【視察先】

鳥根県邑南町
鳥取県米子市
福井県若狭町

●A級グルメ構想とその構想を活かした観光施策について

鳥根県邑南町では、町内で生産した石見和牛等の高級食材を生かした料理を提供するレストラン「AJIKIRIA」を立ち上げ、町外を中心に年間6千人以上の誘客に成功していました。併せて、地域循環型の経済を確立するため、食や農に関連した小さなビジネスへの支援事業にも取り組んでいました。



●中心市街地活性化基本計画と官民一体のまちづくりについて

鳥取県米子市では、中心市街地の空洞化を解消するために、中心市街地活性化基本計画を策定するとともに、商店街が主体となってアーケードの撤去や路面の整備を行い、官民が一体となって中心市街地の活性化に取り組んでいました。

●新規就農者、後継者育成への取り組みについて

福井県若狭町では、農業の後継者不足を解消するために、農業研修施設である「若狭町農村総合公園」を整備し、市内外から就農希望者を受け入れ、育成を行っていました。また、就農希望者と後継者不在の認定農家等とマッチングを図ることにより、積極的に農業の後継者不足の解消に取り組んでいました。

民生文教常任委員会

【日程】
5月8日
～10日

【視察先】

長野県松本市・中野市
新潟県上越市

●松本ヘルスバレー・ラボ支援事業について

長野県松本市では、健康づくり、疾病予防、介護予防や医療費の削減等といった行政課題に対し、行政だけではなく、企業と連携し社会的ニーズをマーケット化することで、企業と行政の双方がプラスになるとともに、市民が、その健康・医療産業のサービスを受けることで、健康に高い意識を持ち、この地域で安心安全に自立して暮らしていける環境づくりを目指して行っていました。



●中野市障がい者計画について

長野県中野市は、2市4町で構成する県最北端の「北信圏域」に属しており、北信地域障がい福祉自立支援協議会を組織し、圏域における課題等に取り組んでいました。

●コミュニティ・スクール事業について

新潟県上越市では、平成24年度に市内すべての小中学校にコミュニティ・スクール、学校運営協議会制度を導入し、学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を目指して行っていました。

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

5月22日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎平成30年度に採用する小矢部市職員の募集について

平成30年度採用する職員の職種や採用予定人数、受付期間等について報告がありました。

産業建設常任委員会

5月16日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎「小矢部市メルヘンおやべブラッシュアップ調査業務」の調査結果報告について

「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした観光ルート・旅行商品の開発等に関して調査・検討を行った業務についての結果報告がありました。

民生文教常任委員会

5月17日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。
・教職員の負担軽減に向けて、栄養指導については、栄養教諭制度の活用を検討してもらいたい。

公共施設再編特別委員会

5月11日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎今後の整備予定施設について
今後整備を予定している施設やその費用等について報告がありました。

◎津沢地域まちづくり計画にかかる（仮称）津沢夜高会館の建設計画について
（仮称）津沢夜高会館の建設に向け、検討してきた経緯や、今後の計画について報告がありました。

◎大谷校区・蟹谷校区統合こども園について
統合こども園の整備計画の概要について報告がありました。

交通対策特別委員会

5月11日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*市当局からの報告事項

◎あいの風とやま鉄道の利用状況等について
あいの風とやま鉄道の利用実績や、利用促進に向けた取り組みについて報告がありました。

◎市営バス運行に係る意見について
自治会や長寿会に対して市営バス運行に係る意見を聴取し、取りまとめた結果について報告がありました。

意見書（議員提出）

地方自治法第99条の規定に基づき、政府に対して意見書を提出しました。
（提出先：衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 内閣官房長官）

精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書

障害者基本法は、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障がい者の自立及び社会参加の支援等のために施策に取り組むべきことを定めている。

また、障害者差別解消法の施行に併せて、本県においても「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が施行され、本市においても障がい及び障がいのある人の現状と課題について理解を深め、障がいの有無によって分け隔てられることのない社会づくりに向け、取り組みを進めているところである。

障がい者の自立や社会参加を促進し共生社会を実現するためには、移動手段の確保は必要不可欠であり、鉄道や航空機など公共交通機関においては、運賃割引制度を設け、障がい者の経済的負担の軽減を図っている。

しかし、その多くは、身体障がい者及び知的障がい者を適用対象とするものであって、精神障がい者を対象とするものは少なく、大きな格差が生じている。

よって、国会及び政府におかれては、交通事業者に対し、公共交通機関の運賃割引制度について精神障がい者も身体障がい者及び知的障がい者と同様に適用対象とすることを働きかけるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月23日

小矢部市議会議員 中西正史

■ 会務報告

平成 29 年 3 月 24 日から平成 29 年 6 月 8 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
29. 4. 11 ～13	議会運営委員会行政視察	・議会改革について ・熊本地震被災及び復興状況について ・議会改革について	福岡県大牟田市 熊本県益城町 福岡県古賀市
4. 20	第92回北信越市議会議長会定期総会	・平成28年度会務報告及び歳入歳出決算報告 ・平成29年度予算 ・全国市議会議長会への提出議案等	金沢市
4. 26	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・「演芸会 おやべ五百円亭」の実施について他1件報告	第一委員会室
	議会だより編集委員会	・第185号発刊について	第二委員会室
4. 27	交通対策特別委員会	・所管事項について	第二委員会室
5. 8 ～10	民生文教常任委員会行政視察	・松本ヘルスパレー ラボ支援事業について ・中野市障がい者計画について ・コミュニティ・スクール事業について	長野県松本市 長野県中野市 新潟県上越市
5. 11	交通対策特別委員会	・あいの風とやま鉄道の利用状況等について他1件報告	第二委員会室
	公共施設再編特別委員会	・今後の整備予定施設について他2件報告	第二委員会室
5. 15 ～17	総務常任委員会行政視察	・公共施設等マネジメントについて ・市庁舎建設について ・公会計を含む財務事務について ・財政健全化の取組みについて ・PFIによる学校給食センター整備運営事業について ・新庁舎建設について ・プレミアムアウトレットの活用と中心市街地活性化について	東京都立川市 埼玉県和光市 埼玉県ふじみ野市 栃木県佐野市
	産業建設常任委員会	・「小矢部市メルヘンおやべブラッシュアップ調査業務」の調査結果報告について報告	第二委員会室
5. 17	民生文教常任委員会	・報告案件なし	第二委員会室
5. 18	一般国道8号整備促進期成同盟会総会	・平成28年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・平成29年度事業委計画及び予算	高岡市
	主要地方道小矢部伏木港線改修期成同盟会総会	・平成28年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・平成29年度事業委計画及び予算	高岡市
5. 20	北陸新幹線新高岡駅「かがやき」停車実現期成同盟会総会	・活動報告、新高岡駅の現状及び今後の活動報告について	高岡市
5. 22	総務常任委員会	・平成30年度に採用する小矢部市職員の募集について	第二委員会室
5. 22 ～24	産業建設常任委員会行政視察	・A級グルメ構想とその構想を活かした観光施策について ・中心市街地活性化基本計画と官民一体のまちづくりについて ・新規就農者、後継者育成への取組みについて	島根県邑南町 鳥取県米子市 福井県若狭町
5. 23	富山県選出国會議員と富山県市議会議長会との懇談会	・各市からの要望事項の要旨説明	東京都
5. 24	第93回全国市議会議長会定期総会	・平成28年度事業報告及び平成27年度決算報告 ・平成29年度予算 ・部会提出議案25件、会長提出議案4件等	東京都
5. 25	全員協議会	・「津沢夜高あんどん祭」について報告	第一委員会室
5. 29	砺波地方衛生施設組合議会臨時会	・砺波地方衛生施設組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について他3議案	高岡市
	砺波地方介護保険組合議会臨時会	・砺波地方介護保険組合監査委員の選任について他1件報告	砺波市
	砺波地域消防組合議会臨時会	・財産の取得について他1議案	砺波市
6. 1	議会運営委員会	・平成29年6月定例会について	第二委員会室
	富山県西部市議会議長会総会	・平成28年度事業報告及び歳入歳出決算報告 ・平成29年度事業委計画及び予算	高岡市

編集後記

表紙でもご紹介したとおり、6月24日に、議会報告会を市内2箇所で行い、多くの参加者と意見交換をさせていただきました。

また、今般6月定例会において、小矢部市議会改革協議会を設置し、議会改革に関する事項の協議をすることといたしました。

小矢部市議会では、平成22年に、議会基本条例を制定し、県内でいち早く議会改革に着手し、情報公開と市民参加を基本にしたまちづくりの実現に向けた取り組みを積極的に進めているところです。

小矢部市議会は、今後も開かれた議会として、市民の皆様とともに歩みを進めて参りますので、市民の皆さんのご支援とご協力をよろしく願います。

次回の「議会だより」は、平成29年11月の予定です。
(議会だより編集委員一同)